おおさわ学園コミュニティ・スクールだより

おおさわ学園　コミュニティ・スクール委員会　会長　三瓶恭子
http：//mitaka-schools.jp/ohsawa/index.html
おおさわ学園 HP「地域・家庭」タグをクリック

おおさわ学園

三鷹市立第七中学校
校長　勝野　能光

残暑の候、皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

七月の九州・中国地方等を襲った集中豪雨により、大きな被害が発生しました。尊い命を落とされた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災地の一日も早い復旧・復興を願います。

新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に世界中に流行し、未だ終息が見えません。わが国でも、緊急事態宣言が発せられ、おおさわ学園も、３月から春休みを挟み５月末までの臨時休校となりました。卒業式や入学式の規模縮小、進学や進級に当たりまして、児童・生徒の皆さま、保護者の皆さまには、ご理解とご協力、そして自宅待機期間中のご苦労にこの場を借りて改めてお礼申し上げます。

学校が、再開され、夏休みを挟んで三ヶ月が経過しました。「新しい生活様式」「新しい日常」の新たな行動様式に基づき、児童・生徒の安全を第一に考え、年度当初の計画が大きく変更を余儀なくされる中、二学期が始まり、児童・生徒も元気に登校をしています。この間、多くのボランティアの皆さまが、校舎内の消毒・清掃や見守り活動、学習の補助等おおさわ学園を支えてくださいました。ありがとうございます。

この感染症への対応は、手洗い・うがい・咳エチケットといった基本的対策は当然のことですが、健康教育の面から感染症予防について児童・生徒が身をもって学習することとなったと感じています。今後も「ウィズコロナ」のもとでの生活、学校の教育活動が行われていきます。児童・生徒、保護者、地域、ＣＳ委員会そして学校が「チームおおさわ」として一丸となって子どもたちの健康と学びを維持していきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

おおさわ学園

コミュニティ・スクール委員会
会長　三瓶恭子

今年度はすべてが通常とは異なるスタートで、特に小・中学生とも新１年生にとっては少しさみしい入学になってしまいました。新しい生活スタイルや学習面に関しても、今後の生活に不安を感じている方もいるかもしれません。

しかし「ものは考えよう」と言います。この際、生徒・児童のみなさんは、今回の事態に対し大人たちがどのように行動し、この危機にあたるかを見ていきましょう。失敗も多く、全てが成功という訳ではないと思いますが、他人の失敗や成功からも、今後みなさんが成長し社会で活躍するようになった時に、参考にできることや役に立つことがあるかもしれません。

勉強には学校で教えてもらう教科だけでなく、体験することによって学べるものも多くあります。学校では校外学習や体験学習などの授業や様々な行事などがあり、それらは新しい自分を発見したり、季節を感じるなど日々の生活に刺激を与えてくれますが、今年度は通常より少なくなるかもしれませんね。でもこのコロナ禍でなくては見ることや、経験することができないものを見つけることができたら、決して損をしたことにはならないでしょう。それほど貴重な体験をしているとも言えるのです。そして辛い思いをした時は、保護者や先生方、地域の大人たちが、ボランティアや行事等を介してみなさんの成長に寄り添っていることを時々思い出してください。

【評価部会】
評価部会では、昨年から引き続き
学園アンケートの見直しを
行っています。
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
アンケートの実施方法についても
見直しです。
よろしくお願い
いたします。

【コーディネート部会】
今年度は、教室消毒サポートや
小学校１年生の給食サポートなどの
今までにない試みをしてまいりました。
今後も子どもたちの安全に配慮していきたい
と思っております。
引き継ぎ、QR コードによるメール配信
システムの登録にもご協力
お願いいたします。

【広報部会】
CS だよりの発行、を行う予定です。
皆様のお手元には新しくなった
学園アンケートが届く予定
おおさわスクール・コミュニティカレンダーの
発行に向けて作業を進めています。
スクール・コミュニティカレンダー
においては、地域の皆さま、児童、
生徒の皆さんにご協力をいただき、
来年度のカレンダーを
作成中です。

「CS 委員研修会　『通信制と NHK 学園の今』」

７月 21 日（火）、CS 委員であり、NHK 学園高等学校統括教諭を務める盛田和彦先生を講師にお迎えし、CS 委員、教職員で研修会を開催しました。
（CS 委員他 12 名教職員 15 名）

高等学校の生徒数は年々減少し、一方、通信制高校の生徒数はここ数年増加中（全体の６%）なのはなぜか。現在における通信制高校の魅力を学びました。

NHK 学園通信制高等学校の生徒層は、昭和 37 年設立当初は働きながら学ぶ成人生徒が多数だったが、現在は 10 代の高校現役世代の生徒が多数と様変わりしている。

不登校、発達障害、家庭環境等様々な背景を持つ生徒達が在籍。ほとんどの生徒が少しの工夫で自分らしく学び、将来の道を見つけている。『既存の仕組みに合わせるのではなく、自分に合う仕組みを選ぶ・構築する時代』が到来しているのかも。

『・パーソナライズ（生徒一人ひとりのペースに寄り添い）・ウェルビーイング（一人ひとりが自分らしく過ごせ）・リモート（一人ひとりがストレスのない学習環境をつくれる）』を NHK 学園の目標としていきたい、とのお話でした。
印象深かったのは「少年院の生徒は学ぶ家庭環境が無かった子が多く、通信制で学ぶととても良い生徒で、再犯率も下がる」とのお話。会場からは「心が折れやすい子への指導方法」についての質問や、「コロナ禍において日本の教育の最先端なのでは」などの意見が出ました。